

科目	教育心理学	担当	赤岡 美津子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

教育心理学は、教育場面においた生じる現象を扱う心理学である。基礎的知見の習得は不可欠である。併せて、現代社会における様々な教育問題を心理学的見地から取り上げると共に、生徒の発達の側面とその病理の理解にも努めたい。グループディスカッションや発表を随所で取り入れつつ主体的参加型授業を旨とする。従って到達目標は、各時間に於いて取り上げられる基礎的知見の修得と、それに基づく現実の教育場面の解明である。

**【履修注意】**

教育に関する問題に常に関心を持ち、それらに対して心理的側面から検討してみる習慣を持つ・真摯に「聴く」・発言する・学ぶ者としてのマナーに留意する・毎回のレポートを提出する・毎時間ワークシートを完成させる・その他授業時に指示する。

**【評価方法】**

定期試験60%・出席点15%・レポート点15%・討論や質疑応答への参加点・マナー点等10%

**【試験について】**

試験について 中間まとめ・期末テスト実施 何れも筆記試験

期末テストにおいては、5回以上欠席したものは受験資格を有しない

再試験対象者の条件：中間試験を受験し、かつ出席条件を充たしていること

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。従って授業後の復習と発展学習を行い、新知識の定着を図ること。

**【教科書】**

教科書不要・各授業時に作成資料を配付、配信

**【参考書】**

『教育心理学』 河野義章 川島書店 2006年  
『たのしく学べる教育心理』 桜井茂男 図書文化 2004年  
『教育心理学エッセンシャルズ』 西村純一・井森澄江 ナカニシヤ書店 2006年 他、随時紹介

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	教育心理学を学ぶに当たって	教育心理学の意味・歴史と現状・授業計画
2	発達の心理学 I	発達の一般的原理・発達の諸理論1: エリクソン
3	発達の心理学 II	発達の諸理論2: フロイト・ピアジェ・その他
4	学習の心理学 I	学習の意欲: 連合説・認知説
5	学習の心理学 II	学習のメカニズム: 動機付け・内発的・外発的
6	学習の心理学 III	授業: 学習指導の形態・指導法
7	学習の心理学 IV	知的能力: 記憶・知能・創造性
8	中間まとめ	前半7回のフィードバックと、補習・補足
9	学校・学級の心理学 I	学校・学級集団: 教師と生徒・リーダーシップ
10	学校・学級の心理学 II	社会性の育成: 向社会行動・役割取得・道徳性
11	パーソナリティの理解	理論と測定: 類型論・特性論・Y-Gテスト 他
12	不適応の理解と対応 I	反社会的行動: 暴力・薬物・虞犯行為・他
13	不適応の理解と対応 II	非社会的行動: 不登校・引きこもり・いじめ・他
14	特別支援教育	身体障害・知的障害・情緒障害・発達障害
15	教育評価	相対評価・絶対評価・観点別評価・新しい学力観
16	期末テスト	15回の復習・確認・まとめ